



佐工だより

佐賀県立佐賀工業高等学校 総務部発行 第344号 (2021年4月)



春爛漫。光も風もすっかり春。気持ちよくて、どこか川^{ほとり}の畔や野山をそぞろ歩きしたくなる陽気です。まもなく今年度が終わりますが、どんな1年でしたか。世界的にはコロナの年ということになりますが、コロナ禍の有無にかかわらず、みなさん一人一人に日々学びや成長があり、心も体も1年前とは違う自分になっているはずです。

第73回卒業式



卒業証書授与

雨が心配されていた3月1日(月)の卒業証書授与式は、幸いにも卒業生諸君の門出を祝ってくれるかのような晴れに恵まれました。新型コロナウイルスの感染を予防するために、今年も昨年と同様、式を簡素化し、全員がマスクを着用して行いました。クラスごとに、全員の呼名の後、代表者に証書が授与されました。式辞の中で、副島政史校長先生は「この厳しい時代だからこそ、学び舎を去る皆さんも夢と目標を忘れないで、人に優しい、人の気持ちを思いやる大人に成長することを切に願います」、「この中には両親を亡くした人もいます。また、亡く

なった友のことも忘れないでほしいと思います。尊い命を大切に、両親や友の分までこれからの長い人生をしっかりと歩んでください。」と述べられました。

続いての祝辞では教育後援会会長の大宅正剛氏が「天職と思える仕事に巡り会うのもご縁、一生をかけてやり遂げたいと思えるライフワークに出会うのもご縁、生涯の友と巡り会うのもご縁。これから訪れるご縁をどうぞ大切にしてください」、「『実るほど頭^{こうべ}を垂れる稲穂かな』という言葉があります。稲の穂は実るほど穂先が下がるものです。人も成長すればするほど謙虚な姿勢で人と接するのが大切です。業界を支える逸材となり、人生を謳歌してください」と卒業生諸君へはなむけの言葉を贈って下さいました。



祝辞



送辞



答辞

祝辞に続き、全在校生を代表してただ一人式に参列した生徒会副会長 村岡愛菜さん(建築科2年)が送辞を述べました。先輩と過ごした日々を振り返り「先輩方に憧れ、尊敬してきました。先輩方が築いてこられた伝統を受け継ぎ、『至誠剛健』の精神に磨きをかけて、さらに良い学校となるよう努めて参ります。今まで数々のことを教えてくださりありがとうございました」と感謝の気持ちを述べました。送辞に答えての答辞では、「私達卒業生は、『至誠剛健』の校訓の下、この佐賀工業で学んだことと思い出を胸

に、四月から別々の道へ進んでいきます。今後は社会を支える側に立ち、それぞれの場所で自分だけの花を咲かせます」と、前生徒会長の田町太暉君（電気科3-2）が力強く決意を述べました。

コロナ禍がいつ収まるともしれない中、卒業生諸君は慣れ親しんだ佐賀工業高校を後にし、新しい環境に身を投じます。きっとすぐに新しい職場に、学校に馴染み、ますますたくましくなっていくことでしょう。

ご退職の先生方

この3月で副島政史校長先生、統括事務長の市丸文雄先生、学校技師の石橋比徳先生が、学校での職業生活を終え、定年をお迎えになります。長い間大変お疲れ様でした。そしてありがとうございました。

校長 副島政史先生



これまで、生徒の汗に感動し、涙を享受し、笑顔に励まされ、直向きさに癒され、そして健やかな成長を共有できたことに喜びを感じていました。38年間、様々な場面に教師冥利を実感し、さらに、長い伝統と歴史を刻む佐賀工業高校で勤務を終えた充実感と安堵感で感謝の気持ちが溢れています。

さて、まだまだ厳しいコロナ禍は続きますが、希望の光を見失うことなく、この制服に自信と誇りを持ち、これからも伝統の“襷”を引き継いでください。社会で必要とされる人財となるよう、校是の“挑み、研ぎ、咲かす”の精神で、自身のストーリーを創り続け、貴重なヒストリーとなることを祈っています。



統括事務長 市丸文雄先生



佐賀県学校事務職員を拝命して33年になりました。定年退職までの最後の3年間を佐賀工業高校で勤務させていただきました。3年の間には創立120周年記念事業、ブロック塀改修工事など大規模工事が続き、また今年は新型コロナウイルス感染症対策など中身の濃い3年間でした。生徒の皆さんは、新型コロナウイルス感染症で今までに経験したことのないような活動制限が学校の内外で行われ大変な1年でした。コロナ禍の終息はまだ見通せませんが、もしコロナ禍で今年と同じような状況になることがあったとしても歴史と伝統のある佐賀工業高校の生徒として、自信と誇りをもって学校生活を送ってください。



学校技師 石橋比徳先生



私の人生、20歳までは人生の土台づくり期間、20歳から60歳までは大きな病気、けがをしない健康作りをして全身で働く期間だと考えてきた。そして60歳になってからは、新しい人生を毎日豊かに過ごすことを意識している。20歳の頃、ある会社に入社した時、読書すると億万長者になれると言われ、半年間毎月のように本を読み、読書感想文を書いた記憶がある。だが、億万長者になれなかった。**ピエン**。ただ、得るものはあった。「自分だったらどうするのか」と想像し、その想像力は、ものを発想する創造、健康作りにつながり、生きる力となった。生きていくには、大きな夢が必要だと思う。在校生皆さんがんばってください。大変お世話になりました。



卒業生と語る会(建築科)

建築科で毎年行われている「卒業生と語る会」が2月19日(金)に催されました。今回は県内でお勤めの13名の卒業生が後輩のために集まってくださいました。作業着にネクタイをキリッとした、凛々しい先輩方。皆さんの目にはどう映りましたか。

『仕事をする中で法律は覚えていく』という言葉が印象に残った。」「先輩達のように作業着を着こなせる人になりたいです。」「自分たちと4歳しか離れていないけれど、社会に出て働いていて、とてもすごいなと思いました。」「コミュニケーションが大事だと、ほぼ全員の先輩が言っていた。」「施工管理の資格を持っていてかっこいいなあ。」「先輩方はコミュニケーション能力が高く、どんな質問に対しても臨機応変に答えてくれた。」「『最初が大事』と言われていた。」「自分の仕事を楽しいと言っているのがすごいし、かっこいいなと思いました。」「どの先輩も仕事が大変ながらもやり甲斐や目標を持っていてすごいと思いました。」「かっこいいなあと思ったのは先輩方がみんなの前で堂々と話せるところです。」「先輩方はコミュニケーション能力が高く、話していておもしろかった。」



先輩方の声も少し紹介します。

「高校時代は無計画でしたが、今は計画を立ててするようになりました。仕事は期限が決まっているので、全体を見て計画を立てる必要性に1年目に気づきました。(立野愛果さん)」
 「充実していて、1日の仕事が終わると『やった!今日も終わった!』と思います。(志波信二郎さん)」
 「入社した頃は本当に緊張していたけれど、2年たって余裕が生まれました。地権者さんの家へ行って話をしたり、いろんな仕事を経験しています。(藤山太凱さん)」
 「入社したての頃は言われたとおりにやればよかったけれど、今は自分で考えて仕事を進めています。前より段取りよく仕事ができるようになり、なんでも早め早めにしています。休日は恋人とデートするのが楽しみです。(原田俊輔さん)」
 「オーナーと話し合っ値段を決めたりするので責任があります。高校時代と違って、人としゃべれるようになりました。ネットニュースを見たりして、いろんな話題で話ができるように知識を蓄えています。(瀬戸友稀さん)」

先輩方は卒業して2年。皆さん「まだまだ1人前ではありません」とおっしゃっていましたが、すっかり社会人としての貫禄があり、頼もしさを感じました。生徒諸君も卒業したら先輩のようになれるですよ。

表彰

キ・M:機械科 K:機械システム科 テ・E:電気科 C:電子科
シ:電子情報科 I:情報システム科 ケ・A:建築科

◆令和2年度第1回女子溶接技術競技会
敢闘賞 中島 三稀 (M1・三瀬中)

◆令和2年佐賀高等学校新人ラグビーフットボール大会
優勝

◆第43回佐賀県高等学校選手権柔道大会
60kg級 第3位 山口 啓志 (テ2-1・大和中)
66kg級 第2位 大坪 奨武 (M1・三日月中)
73kg級 第2位 藤田 健斗 (キ2-2・三日月中)
" 第3位 小峰 悠稀 (I1・有田中)
81kg級 第3位 相良 卓宣 (M1・昭栄中)
無差別級 第1位 寺尾 光翔 (キ2-2・牛津中)
" 第3位 原田 拓真 (キ2-2・高田中)

◆令和2年度佐賀県高校生春季ソフトテニス大会
優勝 石井・高崎ペア

石井 大裕 (テ2-2・川副中)
高崎 幸樹 (K1・城東中)
準優勝 港・姉川ペア
港 昂史朗 (シ2・城西中)
姉川 勝哉 (C1・基山中)
第3位 中野・横田ペア
中野 雄大 (ケ2・城西中)
横田 祥伍 (K1・鍋島中)

◆第50回ゴーセン杯争奪ハイスクールジャパンカップソフトテニス大会2021
シングルス代表選考会
優勝 石井 大裕
第2位 港 昂史朗
第3位 姉川 勝哉

4 月 行 事 予 定

日	曜	行事予定
1	木	
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	課題テスト（専門教科） 服装頭髪検査 自転車点検 大掃除
8	木	入学式（2、3年生 自宅学習）
9	金	対面式 表彰伝達 課題テスト（全学年）
10	土	
11	日	
12	月	新入生オリエンテーション 図書館オリエンテーション（23日まで） 部活動紹介（1年） クラス役員任命式 個人写真（2年）
13	火	個人写真（3年） 身体測定
14	水	教育相談週間 心臓検診（1年ほか）
15	木	
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	学びの時間「基礎学力講座」開始
20	火	1年生宿泊研修（北山少年自然の家）
21	水	
22	木	
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	↓
29	木	昭和の日
30	金	

佐賀県立佐賀工業高等学校

所在地 〒840-0841 佐賀市緑小路1-1

TEL 0952-24-4356

FAX 0952-25-7043

(ホームページ)

<https://www.education.saga.jp/hp/sagakougyoukougou/>

編集後記 高校生の頃の私は勤勉で、補習がない春休みは、自分が必要だと思う勉強が自由にできると、嬉々として計画を立て遂行していました。ところが大人になると無為に過ごすのもいいなあと思うようになりました。時間ももったいないなど考えず、為になるかどうかとも心にかけない。無駄がいい、目的なんていらぬ。「オモシロイ」を探求できれば尚よし。ヒヨドリ、ネコ、セミ、木々、石…自然界の、ヒト以外のあらゆるものを手本とし、生きる。生徒諸君はまだ真似せぬように。 K